

Oracle Enterprise Manager Cloud Control の起動と停止操作

参考 URL アドレス

Oracle Enterprise Manager Cloud Control 管理者ガイド 13c リリース 2

https://docs.oracle.com/cd/E83823_01/EMADM/GUID-E866CE88-ABF0-4DB9-AB0D-25DD453BACE5.htm

Oracle Enterprise Manager Cloud Control 管理者ガイド 12c リリース 5 (12.1.0.5)

https://docs.oracle.com/cd/E26854_01/doc.121/b65081/emctl_cmds.htm

環境変数のセット方法

環境変数の設定

[sh 系シェル]

\$ <シェル変数> = <設定値> 例 /app/oracle/product/db1

\$ export <シェル変数> ← これでシェル変数が環境変数になる

もしくは、

\$ export <環境変数> = <設定値>

環境変数の値確認

\$ echo <環境変数>

注) 文字列設定のための"
(ダブルクォーテーション)
での括りは、不要

[csh 系シェル]

% setenv <環境変数> <設定値>

環境変数の値確認

\$ echo <環境変数>

[Windows 用]

c:\> set <環境変数> = <設定値>

環境変数の値確認

c:\> set <環境変数>

使用例)

c:\> set ORACLE_SID = orcl

c:\> set ORACLE_SID

ORACLE_SID = orcl

起動方法

すべての Cloud Control コンポーネントを起動するには、次の手順で実行させる

【OMR 管理リポジトリ・データベースマシン】

1. **Oracle Management Repository** がホスト上にある場合は、管理リポジトリをインストールした対象のデータベースの Oracle ホームにディレクトリを変更し、データベースおよびそのデータベースの Net Listener を起動する

- a. ORACLE_HOME 環境変数を**管理リポジトリ・データベース**のホーム・ディレクトリに設定する
- b. ORACLE_SID 環境変数を**管理リポジトリ・データベース**の SID(デフォルトは asdb)に設定する
- c. Net Listener を起動する

```
$PROMPT> $ORACLE_HOME/bin/lsnrctl start
```
- d. **管理リポジトリ・データベース・インスタンス**を起動する

```
$ORACLE_HOME/bin/sqlplus /nolog
SQL> connect SYS as SYSDBA
SQL> startup
SQL> quit
```

【OMS 管理ホスト】

2. **Oracle Management Service** を起動する

```
$PROMPT> $OMS_HOME/bin/emctl start oms
```

【OMR 管理リポジトリ・データベースマシン】

3. 管理エージェントを起動する

```
$PROMPT> $AGENT_HOME/bin/emctl start agent
```

【OMS 管理ホスト】

4. 管理エージェントを起動する

```
$PROMPT> $AGENT_HOME/bin/emctl start agent
```

【管理対象データベース・ホスト】

5. 管理エージェントを起動する

```
$PROMPT> $AGENT_HOME/bin/emctl start agent
```

【注意】

emctl start agent コマンドは、管理サービスのホーム・ディレクトリではなく、必ず **Oracle Management Agent** のホーム・ディレクトリで実行すること

【その他】

管理対象 Oracle の起動状態は、関係ない

管理対象 Oracle が停止していれば、OMS から管理対象 Oracle を起動することが **EMCC(OMS)**の機能である

停止方法

Cloud Control コンポーネントを停止するには、次の手順を実行する

【管理対象データベース・ホスト】

1. 管理エージェントを停止する

```
$PROMPT> $AGENT_HOME/bin/emctl stop agent
```

【OMS 管理ホスト】

2. 管理エージェントを停止する

```
$PROMPT> $AGENT_HOME/bin/emctl stop agent
```

【OMR 管理リポジトリ・データベースマシン】

3. 管理エージェントを停止する

```
$PROMPT> $AGENT_HOME/bin/emctl stop agent
```

【OMS 管理ホスト】

4. **Oracle Management Service** を停止する

```
$PROMPT> $OMS_HOME/bin/emctl stop oms -all
```

【OMR 管理リポジトリ・データベース・ホスト】

5. **Oracle Management Repository** が同じホストに存在する場合、次の手順に従う

- a. ORACLE_HOME 環境変数を**管理リポジトリ・データベース**のホーム・ディレクトリに設定する

- b. ORACLE_SID 環境変数を**管理リポジトリ・データベース**の SID(デフォルトは asdb)に設定する

- c. データベース・インスタンスを停止する

```
$PROMPT> $ORACLE_HOME/bin/sqlplus /nolog
```

```
SQL> connect SYS as SYSDBA
```

```
SQL> shutdown immediate
```

```
SQL> quit
```

- d. Net リスナーを停止する

```
$PROMPT> $ORACLE_HOME/bin/lsnrctl stop
```

稼働確認方法

【OMS 管理ホスト】

- ・ OMS が稼働中であることを確認する

次のコマンドを実行すると、稼働状態を確認するメッセージが表示される

```
$ORACLE_HOME/bin/emctl status oms
```

【管理対象データベース・ホスト】

- ・ 管理エージェントが稼働していることを確認する

次のコマンドを実行すると、稼働状態を確認するメッセージが表示される

```
$AGENT_HOME/bin/emctl status agent
```